

# 若葉台地区社協だより

令和2年2月29日 No.127  
発行／若葉台地区社会福祉協議会  
会長 熊谷 善友  
旭区若葉台3-2 連合自治会館内

## 第3期地域福祉保健計画取組み

(地区社協 熊谷善友)

～若葉台地区で挑む“つながり”づくり～

### 第3期地域福祉保健計画地区別計画の歩み

若葉台地区社協では、第3期地域福祉保健計画で「困った時に声をあげられる雰囲気のある街づくり」を推進する為に、あいさつ運動と移動サロンの両輪で推進しています。

挨拶運動 ～ 自然な声掛けの取組み

挨拶のできる関係

世間話のできる関係

移動サロン  
(声をあげられる場の提供)

相談のできる関係



### § あいさつ運動



2018年10月以降毎月地域福祉保健部会を開催して、困った時に声をあげられる雰囲気のある街づくりの施策が「あいさつ運動」です。若葉台のあちらこちらにのぼり旗を立て、挨拶のできる雰囲気を作っていきます。「挨拶のできる関係」から「世間話のできる関係」を経て「相談のできる関係」を目指します。

## 賛助金ありがとうございました

(地区社協 熊谷善友)

日頃より若葉台の住民の皆さまのための福祉にご尽力いただくとともに、地区社協の活動にご理解とご支援を賜りましてありがとうございます。

1月～2月にかけて住民の皆さまからお預かりした賛助金の報告をさせていただきます。お預かりした賛助金は、みんなあつまれ、高齢者交流会、孫子老の日、障がい児・者理解作品展などの行事、

地域のボランティア団体等への助成、地域福祉課題解決推進等の活動財源として使わせて頂きます。

ご協力頂いた皆さまには、本紙面を借りて改めてお礼を申し上げます。募集時にお伺いしたご意見と最終報告は次号に掲載します。

2月10日現在

| 自治会名    | 賛助金額     |
|---------|----------|
| 第一自治会   | 119,800円 |
| 東自治会    | 88,301円  |
| 二丁目南自治会 | 158,155円 |
| 北自治会    | 132,510円 |
| 中央自治会   | 74,600円  |
| とちのき自治会 | 88,000円  |
| ゆりのき自治会 | 57,440円  |
| 西自治会    | 53,500円  |
| もみじ自治会  | 62,400円  |
| あかね自治会  | 39,000円  |

## わたしたちのことを知ってください

(クローバーふれんず代表 織田順子)



私たち「クローバーふれんず」は、横浜わかば学園（若葉台特別支援学校）肢体不自由教育部門に通う児童生徒・卒業生の保護者有志の集まりで、PTA協力のもと、平成29年から子どもたちの卒業後の通所施設を求めて活動をしています。

横浜わかば学園には知的教育部門と肢体不自由教育部門の2つの部門があります。「クローバーふれんず」の子どもたちが在籍する肢体不自由教育部門は、この若葉台地域で小学部から高等部までの12年間という長い学校生活をおくる中で少しずつ様々な経験を積み重ねていきます。肢体不自由教育部門の子どもたちは自力歩行が難しいほか、様々な医療的ケアを必要とする子や、体力的にも毎日通うのが厳しい子もいます。

それでもみんなわかば学園が大好きで、学校に通い様々な経験をする事、そして若葉台地域の自

然豊かな環境と接し、地域に住まう方々と交流する事をとても楽しみにしています。その様子を見ているだけで、私たち家族はとても幸せですし、あたたかく迎えてくださった地域の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

この12年間で若葉台地域で過ごすという経験は子どもたちにとって生涯の中でも大変貴重で大切な時間です。学校生活の中で子ども一人ひとりの自分なりの自立をする事、家族以外の人との触れ合いを知り、学び、これからの社会生活で活かす事ができるようになっていくのです。

しかし、子どもたちには厳しい現実も待っています。近年の卒業後のための通所施設の慢性的不足により、このままでは卒業後に社会に出るという選択肢は無く、学校生活で培われた経験が活かされないまま、本人が望まない在宅生活を送る事になってしまいます。

保護者としてもその現実はとても受け入れ難く、今までも様々な活動を通して現状を訴えてきましたが、いまだに改善には至らない状況です。私たちの活動を通して、子どもたちの将来にご理解とご支援をいただけたら幸いです。

## 若葉台ショッピングタウンに福祉用具販売店が開店

(ウォーキングフィールドアルク 森隆司)

数年前までは、若葉台にも介護福祉用具の販売店がありましたが、閉店しその後商店街に福祉用具の販売店は不在の状況でした。近年若葉台団地は高齢化が進み、住民の50%以上が高齢者の住む街になりました。それにもかかわらず、地域特性として絶対必要な福祉用具の販売店が不在の状況が続いていました。昨年(令和1年)12月、介護保険制度が利用出来る「福祉用具レンタルサービスと販売」の専門店がスタートしました。若葉台ショッピングタウン内の「ウォーキングフィールド アルク」がその店です。資格を持った福祉用具相談員が2名在職し、地域の皆様が安心して相談できる店を目指しています。

介護ベッドや車いす、歩行器、手すりなどの大きなものからシーツやマット、おむつなどの日用品まで様々な介護福祉用具などを扱います。福祉

用具は、ご本人が自ら購入する場合と、介護保険を利用し市区町村からの補助により貸与することもできるのです。介護保険は、介護用品全てに適用されるわけではありませんが、介護を必要とする状態になっても、自立した生活が送れるよう、高齢者の介護を国民全体で支える為の制度です。サービスを受けられるのは、65歳以上の方と、40～64歳で特定の疾病により介護が必要と認められた方が対象になります。介護サービスの利用負担は収入の基準で異なりますが、通常料金の1割、2割又は3割で借りることが出来ます。又、利用者様の状態が、要支援1～2 要介護1～5までと段階でも貸与できる商品、月に利用できる金額などが異なります。基準が様々あり、ご自身で判断するのは大変です。まずは地域包括支援センター(地域ケアプラザ)などにご相談ください。ケアマネージャーが、お医者様の意見書などに基づき介護予防サービス計画(ケアプラン作成)等を作成し、市町村に申請します。審査の後、介護認定が出ます。アルクにお尋ね頂ければ、ケアマネージャーの紹介や福祉用具相談員による商品の説明、アドバイスを親切にさせていただきます。

アルクは、6年前からウォーキング用品を中心としたシューズ・ウェアの販売などで、若葉台の「歩く」を支援してまいりました。培われたノウハウで、介護向きの「杖」「外出用靴」「施設用シューズ」「外反母趾・膝腰痛用インソール」「歩行器」「車いす」「シルバーカー」などの使用アドバイスを得意とする販売を行っております。又、介護保険給付の「住宅改修」も可能です。お店が地域住民ならではの目線で若葉台団地に最適のサイズや使い勝手の良さを提案できるのもメリットです。スポーツで「アルク」、介護用具でも「アルク」と、住民の皆様の「安心」「安全」をお守りし、末永く共に生きる店になってくれるはずです。



健康スポーツのバイオニア  
地域に愛されたアルクが、安心をお届けします

～福祉用具販売、レンタルと販売のお店～  
福祉用具専門相談員2名

〒241-0801

横浜市旭区若葉 3-3-1 ショッピングタウンわかば内

ウォーキングフィールド アルク

介護保険事業者番号: 1473203451

月曜日～日曜日 営業 10:00～19:00

☎ 045-744-6433 Fax 045-744-6434

(エムエムプランニング(株))

✉ wf-alk@etude.ocn.ne.jp



# 若葉台地域ケアプラザってなーに？ 第5回

横浜市若葉台地域ケアプラザ

電話 923-8831

FAX 923-8835

ケアプラザでは介護等の相談を受け、必要なサービスや制度、関係機関の紹介や情報提供を行います。最近では認知症に関する問い合わせ・相談が増えています。

今回はケアプラザで行っている認知症の取り組みについて紹介します。

## 認知症とは・・・

認知症は誰もがなりうる脳の病気です。年齢が高くなるほど発症する可能性が高くなります。65歳以上からは発症率が上がり、85歳以上では4人に1人が発症すると言われています。

近年では65歳未満の若い人が発症する若年（性）認知症も見られるようになってきています。

## 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者です。

一人でも多くの方に、認知症の人や家族を支える担い手になってもらえればと思います。ぜひご参加ください。

日 時：4月11日（土）10：00～11：30

内 容：認知症の理解・支援の方法と接し方

講 師：地域包括支援センター職員

参加費：無 料 定 員：30 名

対 象：18歳以上で若葉台地区在住の方

申 込：3月11日（水）10：00から

電話または来館にて受付

★ 受講修了者には認知症サポーターであることを示すオレンジリングを差し上げます。



## けあぶらカフェ いこい

日 時：原則第2日曜日 13：30～15：30

参加費：100円

★お茶とお菓子を召し上がりながら、ご自由にお過ごしいただけます。



★当日の運営はボランティアが行っています。一緒に活動してくださる方を募集しています。ご興味のある方はぜひ一度カフェへお越しください。



★お問合せはケアプラザまで。

～・・・～

「けあぶらカフェいこい」とは・・・

厚生労働省の『認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）』の中で、普及が進められている「認知症カフェ」です。認知症の方とその家族、地域住民等の誰もが参加でき、集える場です。全国各地で取り組みが行われています。

カフェの名称には、「ケアプラザで開催していることがわかる」「みんなが楽しく集まれる場所」という意味が込められています。

講座の開催以外にも、かがやきクラブ等に訪問し、オレオレ詐欺や悪質商法等の情報提供を行います。また、お金の管理や契約に不安がある場合の相談にも対応します。

詳しくは、ケアプラザ地域包括支援センターまでお問い合わせください。

担当者不在の場合もありますので、お手数ですが、来所の際は事前の電話連絡をお願いします。

## 介護者のつどい

介護について、一人で抱え込んでいませんか？悩んでいること、困っていることなど、なんでもお話ができます。お茶を飲みながら、リラックスした時間を過ごしましょう。

誰でもお気軽にご参加いただけます。

お一人でも、ご友人と一緒にでもぜひご参加ください。

日 時：3月14日（土）13：30～15：00

内 容：茶話会

対 象：介護をされている方、介護経験がある方、介護に関心がある方

参加費：無料

※ 申し込み不要です。

※ 今後の予定はお問い合わせください。

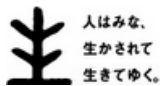




## 《行政委嘱紹介》

### 保護司とは

(保護司 武部由美子)



保護司の活動は手引きより抜粋しますと「地域の人々を代表して、罪を犯した人や非行のある少年の改善更生を支援し、彼らの社会復帰を支えていくこと」とあります。少年院、刑務所より仮退院、仮釈放、執行猶予等出所した対象者に保護観察期間が設けられます。保護観察官と共にその保護観察期間、対象者が再犯しないように、社会になじめるように、月に2日ほど面接を通して見守ることを保護司の第一の活動としています。少年は家族学校、成人は職場など身近で大切な環境に安心した生活基盤ができるよう支えます。青少年指導員や民生委員・児童委員のように、健全に子どもたちが育つ環境を作る明るいイメージ、地域と密着した顔の見える活動と違い、私たちの活動はほとんどを秘匿とするもので直接地域に周知するものではありませんが、自治会の活動に参加して頑張ったという対象者や、他の地域では消防団に参加して地元仲間として受け入れられた喜びを感じて生き直している対象者もいます。やはり生活の地に受け入れられ繋がることは“当たり前”に生きる”第一歩と感じます。

旭保護司会は現在37名で活動しております。罪を犯してしまった人への支援と共に、薬物や犯罪などで人生を狂わしてしまわぬよう「社会を明るくする運動」と銘打って更生保護女性会の方々と啓発活動も行っております。また、高校へは薬物防止授業を行ったり、対象者を雇用して下さる企業の開拓も行っております。旭区では14社が協力雇用主として登録して頂いております。働き口は大切な生活基盤。内情をわかって受け入れて

下さる職場があるということは有難いことです。社会貢献はそんなに大それたことではなくて、それぞれができることをできる形と量で、そしてそれを寄せ集めるだけで、むしろ寄せ集めることが大切なのだと感じました。それが輪かなあと。罪を憎んで人を憎まず。誰の言葉だったのでしょうか。

## 《振り込め詐欺にご注意を！》

**サギ撲滅の2本柱**

**1 こんな言葉を電話で聞いたらサギだ!**  
 「急にお金が必要! 用意して!」  
 「キャッシュカードを預かります。」  
 「ATMで医療費を還付します。」

**2 留守番電話設定のお願い!**  
 「犯人は留守番電話を嫌います。」  
 「常に留守番電話設定を!」  
 「留守番電話が作動する前に取らないで!」  
 「迷惑電話防止機能付き機器の購入検討を!」

**神奈川県警察**

(2019年の被害総額、暫定値)

旭区 104件、13800万円

※件数は前年に比べ+20件

※若葉台で4件発生しました。



(2020年の被害額 2月11日現在暫定値)

旭区 5件、350万円

※電話機は留守電モードに!

## 《今後の予定》

- 高齢者等地域見守り報告会 (3月1日)
- 移動サロン「ほっこり」 (3月17日)
- みんなあつまれ (5月5日)

## 若葉台歯科医院

| 診療時間         | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|--------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前9:30~12:00 | ● | ● | ● | / | ● | ● | / |
| 午後3:00~ 6:00 | ● | / | ● | / | ● | / | / |

休診日 木・日・祝祭日 若葉台4-12-106  
 ☎045-922-0200

### 【編集後記】

「社協だより」はいかがだったでしょうか? 日頃の活動を皆さまにお伝え出来る様に心を込めて編集しているところです。地区社協の役割や活動を知って頂ける様に各自治会をはじめ諸団体へ出かけて説明しています。「若葉台地区社協はどんな活動をしているの?」について次年度も継続して説明に伺います。(み)

《編集委員》阿部昭子、入江ゆきよ、太田正廣、奥村利夫、熊谷善友、東海林知子、峰松雅子 (五十音順)

※社協だよりへの掲載記事を募集しています。

ご希望の方はお近くの地区社協役員または下記メールアドレスまでお願いします。

Mail: wakabadai.chikushakyou@gmail.com